



F-REIの最近の動き (2024年8月)

福島国際研究教育機構

Fukushima Institute for Research, Education and Innovation (F-REI)

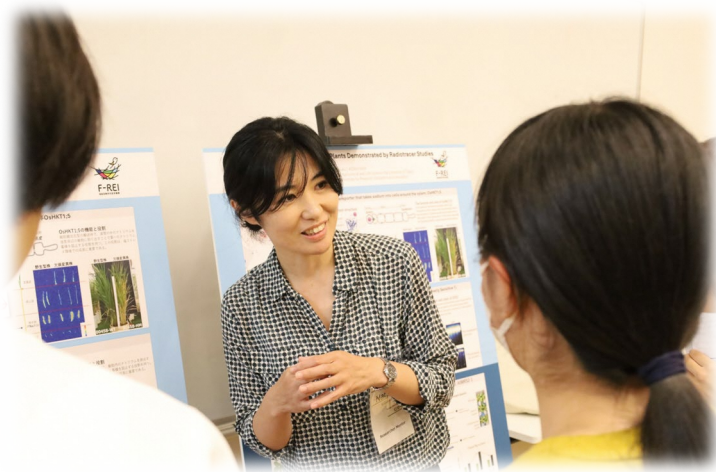
F-REIのWebサイトに掲載されている「F-REIの最近の動き
(2024年4月～)」から2024年8月分を浪江町役場で抜粋して
おります。詳細はF-REIのWebサイトをご覧ください。
(<http://www.f-rei.go.jp/>)

令和6年7月27日（土）～29日（月） Joshikai in Fukushima 2024で特別講演を実施

7月27日～29日、原子力損害賠償・廃炉等支援機構（NDF）の主催で、F-REIが後援、協力している「国際メンタリングワークショップ Joshikai in Fukushima 2024」が双葉町で開催されました。

F-REI委託事業を担当している東京大学大学院農学生命科学研究科の小林奈通子准教授が、F-REI客員研究員（ゲストリサーチフェロー）として、ポスターセッションの発表などを行いました。また、28日（日）には、F-REIの山崎理事長が特別講演を実施しました。

参加された福島県内を中心とした理工系分野に関心のある女子高校生や海外の女子生徒は、理工系への進学や就職などのキャリア形成、将来への不安や悩みが解消され、より明るい未来をイメージできていたようでした。



令和6年7月2日（火）～8月2日（金） F-REI出前授業の開催

F-REIでは今年度から（公財）福島イノベーション・コースト構想推進機構と連携して高校生向けの出前授業を実施しています。

F-REIの分野長・副分野や研究者、各委託研究先の研究者が講師となり、将来、F-REIの研究者となり得る人材の裾野を広げることを目的として、地域の未来を担う若者世代に対して科学の楽しさを伝える活動をしています。



7月2日（火）相馬高校
講師：荒尾副分野長



7月2日（火）相馬高校
講師：金子 純一 准教授
（北海道大学）



7月5日（金）原町高校
講師：大和田執行役



8月2日（金）磐城高校
講師：大西ユニットリーダー

令和6年8月5日（月） 第3回新産業創出等研究開発協議会の開催

8月5日、第3回新産業創出等研究開発協議会を双葉町で開催しました。

会議では、平木大作復興副大臣にもご臨席いただき、F-REIからは令和6年度計画、活動状況及び研究開発等について報告した後、F-REIと一緒に進めていただけるような福島浜通り等地域の復興に資する取組、イノベーションの創出に関する取組等について構成員による活発な意見交換が行われました。

また、協議会終了後、開催地である双葉町による「双葉町の復興をけん引する中野地区復興産業拠点」の現地視察が行われました。



令和6年8月9日（金） ドローンプログラミング教室の開催

8月9日、F-REIサイエンスラボ ドローンプログラミング教室を福島ロボットテストフィールドで開催しました。

今回、World Robot Summit（WRS）における人材育成の一環として行われたもので、当日は福島県内から19名の児童に参加いただき、ドローンの活用用途や空を飛ぶしくみ、構造、プログラミングについて学び、児童は自らプログラミングをして実際にドローンを飛ばしました。

初めは思うようにドローンを飛ばすことができなかった児童も、プログラミングを試行錯誤するうちに上手にドローンを飛行させることができていました。



令和6年8月10日（土） 夏休み応援企画、親子でワクワク科学実験の開催

8月10日、夏休み応援企画、親子でワクワク科学実験をいわき市（福島高専）で開催しました。

本企画は、対象を小学校4～6年生の親子とし、夏休みの思い出づくりや自由研究に役立ててもらおうと、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構（QST）と共同で開催したものです。

当日は親子70組（140名）以上からご応募いただき、抽選で選ばれた県内外33組（65名）の親子にご参加いただき、福島高専の学生さんや科学コミュニケーターの本田隆行さんと一緒に、ドローンのプログラミングやレゴでソーラーカー作り、霧箱作成と放射線の観察実験などを行いました。



**世界に冠たる
「創造的復興の中核拠点」へ**